



おおとりちゅうがっこうだよ

# 大鳥中学校便り 第十二号

学校教育目標 ~豊かな心を育み、社会どのかかわりを大切に~  
○感じる心(徳) ○考える力(知・体) ○行動する鳥中生(公・関)

横浜市立大鳥中学校  
校長 新庄 広

## 2年生 職場体験学習 1月22日(水)~23日(木)



地域の皆様、大鳥中学校の生徒をそれぞれの職場にお迎えいただき、誠にありがとうございました。  
これからも地域の子どもとして大鳥中学校の生徒をご指導ください。よろしくお願いたします。



# 職場体験を終えて(生徒感想より抜粋)



## 1組 田中 亜柚歩さん(中消防署 本牧和田消防出張所にて職場体験)

消防署はめったに行くところではないので、普段体験できないことができました。消防署の人たちは人柄もよく、消防士としてもかっこよかったです。「練習ではたくさんミスしていい。ミスをするのは悪いことじゃない。本番であたふたすることがないように。」と言っていて、ミスすることはかっこ悪いことではなく、ミスを恐れて何もしないことが一番かっこ悪いんだと思いました。消防士の方もたくさん訓練ではミスしたけれど、そこから学び救えた命がたくさんあると言っていました。



## 1組 堂園 友佳さん(神奈川銀行本牧支店にて職場体験)

初めて接客できた時が嬉しかったです。お礼の数え方を覚えるのは難しかったけれど、できるようになったら楽しかったです。窓口の仕事しか知らなかったけれど、他にもたくさんの仕事があることが分かりました。午前中だけの体験だったけれど疲れたので、働くことは大変だなと思いました。

## 1組 永野 麟さん(東急東横線横浜駅にて職場体験)

事業所の方がとても親切で良かったです。いつも乗る側でしか見ていなかった鉄道を色々な視点から見られて、とても興味深かったです。今回行かせていただいた事業所では、皆さんが明るい姿勢で働いていて、とても楽しそうで、私もこのような良い職場で働きたいと思いました。お客様への対応が非常に親切で、自分も社会に出て、人により親切にできるようになりたいと思いました。



## 2組 成田 にこさん(みはらしポンテにて職場体験)

2日間の体験を通して、「仕事の難しさ」を学ぶことができた上に、「障がい者の方はとても身近な存在である」ということに気付くことができました。また、職員の人たちとコミュニケーションをとる中で、仕事のやりがいなどについても教えてくれて、この職業についての理解がより深まったなと感じました。私も「やりがいがある」ということを重視して仕事を探していきたいなと思いました。

## 2組 馬場 友希さん(間門小学校にて職場体験)

2日間の職場体験を終えて、とても体力が必要だと感じました。準備などが大変で、とても2日間では分かりきれないほど忙しいと感じました。働くことは、大変だけど楽しいこともあって、自分のやりたい仕事に就くのが楽しみになりました。やるべき事をやるだけでなく、意欲的に取り組むことが大切だと思ったので、これから頑張りたいと思います。



## 2組 門間 太一さん(市営地下鉄関内・桜木町駅にて職場体験)

この2日間で、駅員の仕事についてたくさん知ることができました。大変なことや難しいことがたくさんある中、お客さんにはいつも笑顔でいてくれて、これからは、駅員だけでなく、様々な職場で働いている人に対して感謝の気持ちを持って施設を利用しようと思いました。

### 3組 大山 凜花さん(本牧活動ホームにて職場体験)

2日間という短い期間の中で、強い信頼関係を結べたことが嬉しかったです。頼ってもらえる喜び、役に立つ嬉しさを身に染みて感じました。車椅子を押すのは初めてでしたが、「心地良かった。明日も押してほしい」と言っていました。どの事業所へ行っても同じではあると思いますが、職場での人間関係が一番重要であり、快適に過ごすにはコミュニケーションを適切に沢山とることが大事だと分かりました。



### 3組 谷内 心優さん(中消防署 北方消防出張所にて職場体験)

みなさん、快く私たちを受け入れてくれて、丁寧に教えてくれてとても面白かったです。体力や筋肉がみなさんすごくて、色々な体験をしたときにとてもきつかったです。この仕事がどれだけ体力や筋力が大切なのか、よく分かりました。今回の職場体験で、自分の将来に向けての明確な目標ができたし、私も消防士のみなさんのようにかっこいいと思えるような人になりたいです。

## 1月に行われた行事から

### 「日系社会次世代育成研修(中学生招へいプログラム)」による中学校体験入学

1月28日(火)~30日(木)の3日間、独立行政法人国際協力機構(JICA)より委託を受けた公益財団法人海外日系人協会主催の上記プログラムにおき、中南米の国々に住む日本にルーツをもつ6名の生徒が1・2学年の各クラスに体験入学しました。



### 中区個別支援学級合同学芸会

1月31日(金)、西公会堂にて中区個別支援学級合同学芸会が行われました。各校の個別支援級の生徒がダンスや演奏、劇などの発表を行いました。大鳥中学校学習室では「ヲタ芸」を披露しました。「おジャ魔女カーニバル」「虹色の戦争」「夜に駆ける」の3曲を生徒たちが選び、振り付けを一から考案しました。当日は約4ヶ月の練習の成果を信じ、素晴らしい発表をすることができました。上級生が下級生に積極的に振り付けを教えてあげる優しさや、緊張を乗り越えて自分を信じることの清々しさなど、合同学芸会を通して生徒たちは様々な社会的な力を身につけたと思います。今回の合同学芸会で得た経験を生かして、これからの学校生活やその先の進路でも活躍して欲しいと思っています。(学習室担任 河野 大樹)

